

近くにミサイルが着弾したら	
共通	<ul style="list-style-type: none"> ■屋外にいる場合 ・口、鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。 ■屋内にいる場合 ・換気扇をとめ、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
事後	<ul style="list-style-type: none"> ■園児の安否等、情報収集に努め、行政からの指示があれば従う ■必要に応じて保護者への安否情報の伝達を行う ■必要に応じて保護者への園児の引き渡しを行う ■自治体等に対し、必要な状況報告を行う

開園前の時間帯にミサイルが発射されるなどした場合、安全が確認されるまで職員も避難することとなります。

安全が確認でき次第、順次出勤となりますが、バスの運行や、開園などはあくまでも安全の確認が取れ、国や自治体の避難情報が解除されてからとなります。

時間にずれなどが生じた場合、園外からでもホームページなどにおいて情報が随時更新できるよう対応を検討中です。

緊急連絡網の使用についても検討していますが、ある程度の時間を要するため、迅速な伝達方法について園でも検討しております。

また、園児の登園については、避難情報が出ている間はしっかりと避難を続け、解除になったのちに登園をするよう、お願いいたします。

【緊急】弾道ミサイルの発射に伴う対応について

1.情報の伝達について

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合、ラジオ・テレビ・スマートフォン等の媒体を介してミサイル発射等の情報が伝達されます。

冷静かつ適切な対応をお願いいたします。

2.園の対応について

発射情報等、避難メッセージが流れたら	
在園時	<ul style="list-style-type: none"> ■屋外にいる場合 ・すみやかに園内に避難する。避難できない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭部を守る。 ■屋内にいる場合 ・園内のできるだけ窓のない空間に避難する。窓がある場合は、カーテンを閉め、できるだけ窓から離れる。
登降園時	<ul style="list-style-type: none"> ■屋外にいる場合 ・近くの頑丈な建物等に避難する ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。 ■自動車内にいる場合 ・ガソリンに引火する恐れがあるため、車をとめて頑丈な建物などに避難する。 ・周囲に避難できる建物がない場合には、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。 ・車外に出ると危険な場合や、すぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。 ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う ■園バス利用時 ・バスの乗車(降車)待ちの際は、近くの頑丈な建物に避難するか、適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。 ・バスに乗車中の場合は、バスを安全な場所に停車させ、頑丈な建物に避難するか、バスから離れ、地面に伏せて頭部を守る。 ・外に出ると危険である場合は、運転手、乗車職員の指示に従い、姿勢を低くして、頭部を保護する。